

JIS Z8210(案内用図記号)の改正審議にあたって

1. JIS Z8210(案内用図記号)の改正趣旨

- ・ 2020 年東京オリンピック・パラリンピックに向けて、外国人観光客の円滑な移動誘導を目的に、JIS Z8210(案内用図記号)の改正審議を進めてきたところ。
 - ・ 先月、JIS(国内規格)と ISO(国際規格)が両方存在する計 90 種類の図記号に関して、どちらがより理解しやすいか、日本人及び外国人(それぞれ 1,000 人以上)に対してアンケート調査を実施した。
 - ・ 本日は、当該アンケート調査結果等を踏まえ、日本人だけでなく、外国人観光客にもより分かりやすい図記号とするため、ISO(国際規格)との整合化の観点から審議を行う。

2. アンケート調査結果(理解度)の概要

【表】アンケート調査結果(理解度)の概要

区分 (※)	国内調査結果	海外調査結果	グループ分け(※※) した該当数	
			B 及び C	D 及び E
ア	JIS が優位	JIS が優位	41	6
イ	JIS が優位	ISO が優位	7	1
ウ	ISO が優位	JIS が優位	1	0
エ	ISO が優位	ISO が優位	16	5
オ	JIS が優位	有意差が無い	6	1
	ISO が優位	有意差が無い	3	0
	有意差が無い	JIS が優位	1	0
	有意差が無い	ISO が優位	2	0

【参考】

(※) 別紙 1 は、区分(ア～オ)に沿った一覧表となっている。

(※※) JIS と ISO で、図形が異なる程度に応じてグループ分け(B～E)。

(A: 図形が全く同様のため、今回のアンケート調査では対象外)

B: ほぼ同じだが細部が異なる

C: 異なる部分が定義のキー要素ではない

D: 異なる部分が定義のキー要素となり得る

E: 図形が全く異なる

} 相対的に違いが小さい

} 相対的に違いが大きい

3. 改正審議の基本的な方向性と主な論点

(※)本ペーパーと別紙2一覧表をご覧くださいながら議論をお願いしたい。

(1) 基本的な方向性

原則、アンケート調査結果に基づくこととし、そのうち

①B及びCグループ(別紙2 **黄色**セル(29件))について、国内調査 and/or 海外調査結果において ISO 図記号が優位である場合は、ISO 図記号を採用するとしてよいか。

②D及びEグループ(別紙2 **黄緑**セル(7件))について、

- ・ イ(1件)については ISO 図記号を採用するとしてよいか。
- ・ エ(5件)については ISO 図記号を採用するとしてよいか。
- ・ オ(1件)については有意差のある結果に基づき、JIS 図記号を採用するとしてよいか。

(2) 主な論点

以下のような観点については、どのように考慮するか。

① 図記号がセットで用いられるため配慮が必要な場合

【該当案件(5件)】

- ・ 男女
- ・ 並び方(一列、二列、三列)
- ・ リフト
- ・ 遊泳、遊泳禁止
- ・ 飛行機の発着陸

② その他(我が国の特性や文化的な背景等に関する場合)

【該当案件(例)】

- ・ 温泉

③JIS 図記号を ISO 図記号へ変更する場合に必要な個別措置について
(適切な移行期間の設定、JIS 図記号と ISO 図記号の併記による対応等)

(以上)